

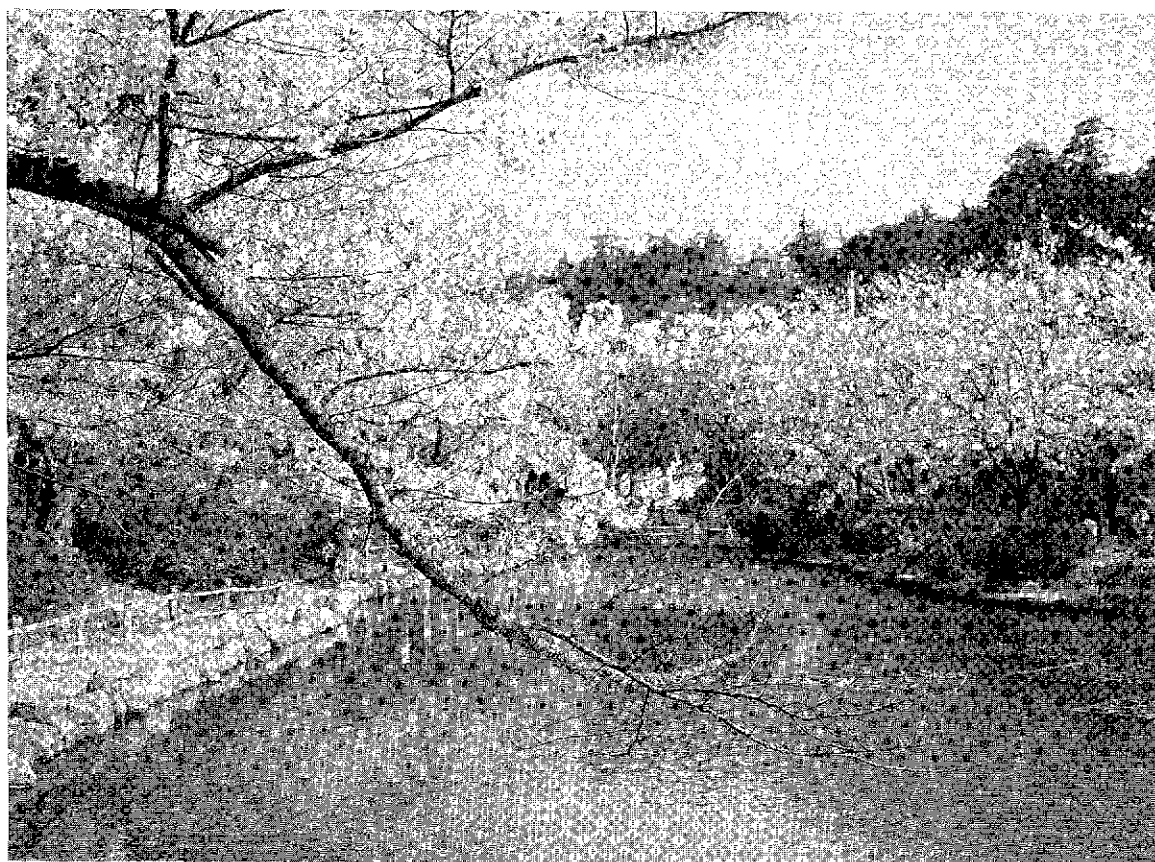
新潟県

平成5年

公民館月報

4月
第482号

特集 公民館と芸術文化活動



松籟に

三千本の

花の園

梁取 松城子

(村松俳句会)

県景勝百選の村松公園の
桜である。

夏は緑、秋の紅葉、冬は雪
化粧。とりわけ春は桜花爛
漫、賑やかな季節を迎える。

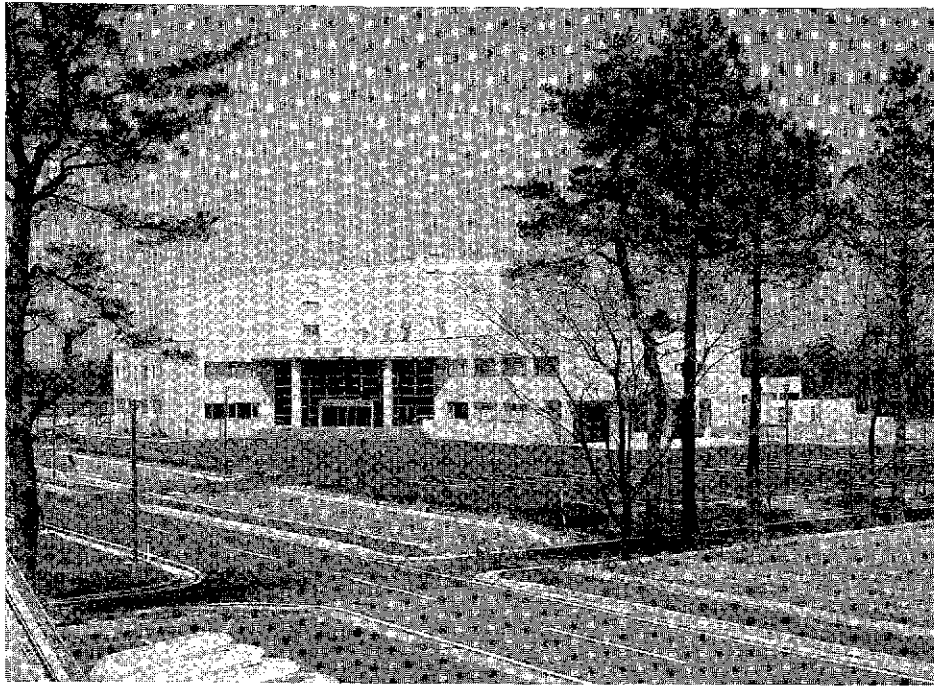
(写真・資料提供)

村松町公民館

県公民館大会案まとまる

テーマは「公民館の今日的課題を考える」

ユートピアくびき希望館で



第44回新潟県公民館大会案

テーマ 公民館の今日的課題を考える

1. 趣旨 変化と再生の時代といわれる今日、公民館はどのように対応すればよいのかということが重要な課題となっています。

このため、本大会においては、住民の日常生活の中における生涯学習に視点をあてて、「公民館における今日的課題を考える」を研究テーマとしてシンポジウムならびに記念講演により、これからの公民館の在り方を考えようとするものであります。

公立公民館はもとより集落公民館等公民館類似施設においても、暮らしの中の今日的課題の掘り起こしとその対応について考える機会とするため、本研究大会を開催します。

- 2. 主催 新潟県公民館連合会 上越地区公民館連絡協議会
- 3. 共催 新潟県教育委員会 新潟県公民館振興市町村長連盟 頸城村 頸城村教育委員会
- 4. 主管 中頸城郡公民館連絡協議会
- 5. 後援 略
- 6. 日時 平成5年7月15日(木)
- 7. 会場 頸城村 ユートピアくびき「希望館」
- 8. 参加者 略
- 9. シンポジウム「公民館の今日的課題」

コーディネーター新井市立新井中央小学校長 野本 韶 一
登壇者3人による意見発表

- 10. 記念講演 題「無境界化時代の子どもたち」
国立妙高少年自然の家所長 五十川 隆 夫

11. 日程		9:00-9:40	10:20-12:20	13:30-15:00	15:15-30
受付	開会式	シンポジウム	昼食 (アトラクションは検討中)	記念講演	閉会式

- 12. 参加費 2,000円(資料代)
- 13. 申し込み 略
- 14. 大会事務局 〒942 上越市大手町5-40 上越市立公民館内

来る七月十五日(木)に開催を予定されている第四十四回県公民館大会については、会場地は中頸城郡頸城村「ユートピアくびき希望館」、主管は中頸城郡公民館連絡協議会であること

は、既に決定を見ているところである。
その内容について、このほど正案がまとまり、四月二十七日開催の評議員会の決定を見るまでとなっている。それによると日程は一日研修(一昨年度は関プロ集会と共催・昨年度は佐渡大会で一泊研修であった)に戻した。大会参加費は二千元(昼食代込み)で、佐渡大会を踏襲している。
研修テーマは、生活の課題に目を向けるため、「公民館の今日

的課題を考える」とし、基調提案とシンポジウムによって研修内容を深めることにしている。また記念講演は竣工間もない国立妙高少年自然の家所長の五十川隆夫氏を予定している。
会場は、J.R利用者には直江津駅に送迎バスを配車の予定、高速バス利用者には北陸自動車道くびき停留所からの送迎バスを用意する予定。マイカー利用者は、くびきICからすぐ。駐車場の用意あり。

関プロ公連理事会開催

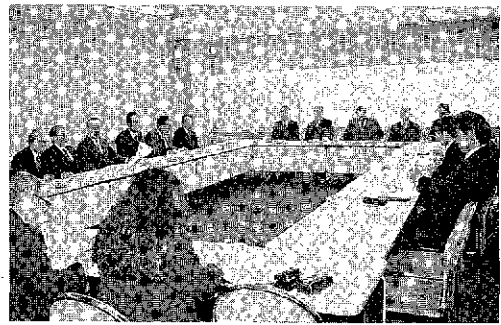
第34回公民館研究会案検討

去る三月二十五日、平成四年度第二回関東甲信越静公民館連絡協議会理事會が、大宮市ツニックスティビルを会場に開催された。

主な議題は、第三十四回関プロ公民館研究会の原案検討にあった。その案によると、会場 一橋大学兼松講堂ならば第一新館・第二新館 期日 平成五年九月二日(内三日

参加費 三千元(資料代・記録集代) 分科会 十五分科会になるもよう

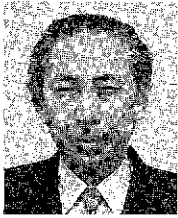
全体会 パネル討議(第二日目) なお、当県の担当分科会は障害者の学習と公民館」部会と司会・助言をセットで担当するもの。ご協力をお願いする。



視点

「今年も演奏会の計画を立てました。ぜひ資金助成をお願いします」というあいさつをAさんからいただいた。

新潟市は市民の文化活動を積極的に応援するために(財)新潟市芸術文化振興財団を設

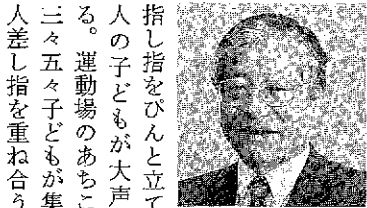


「今年も演奏会の計画を立てました。ぜひ資金助成をお願いします」というあいさつをAさんからいただいた。Aさんは音楽大学卒業以来、新潟に帰りピアノの教師と主婦業をこなしながら後輩を育てる。B君は観光業関係の会社に勤めている。先日も新営業部長の着任を祝った。

もう一つの顔を見せられる人たち

志水 巨

替換に同行して財団を宰してきた。このたびの企画は研修の成果を発表し、演奏家として評価を問うための音楽会である。彼女の口癖が私どもを訪ねる時の



この指とーまれ

藤田 銀次郎

「かーくれんぼする者、この指とーまれ。」 運動場の隅で、一人

指し指をびんと立てて、一人の子どもが大声を挙げる。運動場のあちこちから三々五々子どもが集まって人差し指を重ね合う。やがて大きな集団ができて、かくれんぼが始まる。昔懐かしい遊びの情景である。

ひろば

誰が最初に人差し指を立ててもいい。遊びたいと思つた者が指を立てるのである。一しきりかくれんぼが続いた後で、また別な子が「この指とーまれ」と叫ぶこともある。

普段の遊びを通して人間関係が緊密になっていけばいい程、短時間の内に人が集まって来る。また、その者の人間関係に広がりがあればある程、多数の人差し指が重なり合う。

先日の公民館運営審議会で、諸事業への参加者が少ないとの声がかかれた。これら各種事業

が計画されていること自体地域の人々が知っていないことが原因しているといふのである。それゆえ、もつと広報活動を盛んにしなければと指摘もされた。必要なことだと思ふ。

しかし、印刷物を配布しただけで、これらの各種事業に人は集まるだろうか。読んでくれなければ一片の紙屑同然である。それぞれの地域で声掛けをする人が必要に思えてならない。声は確実に人の耳に入っていく。声掛けを通して、人間関係の形成も図られていく。各地域で、「この指とーまれ」と呼びかける人がいてこそ、血の通う広報活動が展開されると考えている。

(五泉市公民館運営審議委員) 「ひろば」は公民館運営審議委員の方々の交流の場です。気軽に近況をお寄せください。字数は八百字以内、顔写真を添えてください。宛先は八面最下段に記載の県公連あてです。

投稿歓迎

(編集部)

気をくばれ! 車のかげから黄色い帽子 (春の交通安全運動)

余暇時間の増大とともに、住民の文化活動への関心はきわめて高くなっている。公民館の文化活動特に芸術文化活動への関わりが「くらしの中の課題」として迫ってくるゆえである。

都市の市民生活の中でのクラシック音楽活動は、芸術文化団体などの組織化により、比較的に早くから自主活動として取り組まれてきた。

町村部でも近年優れた文化施設が建てられるようになり、芸術文化活動への参加活動や学習意欲の高まりを見せており、公民館の対応が求められている。

の課題を追って 文化活動

女性コーラス教室から

条件下での、公民館の芸術文化活動への取り組みの事例である。

聖籠町は新潟市と新発田市に挟まれた砂丘と田園の広がる近郊農業の町。産業の中心は、米作と果樹栽培にあり、コーラス教室に参加する女性たちの多くは、農家の主婦である。昼は農作業の主役として、あるいは主婦業に追われながらも、公民館の主催する教室に通い、素晴らしいコーラスのハーモニーを楽しんでいる。

一、「聖籠町コーラス教室」の開設

平成元年六月、総工費四十億円の町民会館の竣工を契機に、①この素晴らしい施設の機能を發揮し、施設にふさわしい格調の高い文化活動を展開したい。

②その活動は、青少年から成人高齢者にいたる町民挙げてのものにしたい。③それには、芸術文化の活動が適していると考えた。(その陰に、新発田市、中条町、水原町など周辺を見回すとクラシック音楽のサークルがあるのに当町にはない、ということもあった)

こうした情勢の中で取りあえず、公民館主導で大人のコーラスグループを作ろう、ということになり、その年の七月「ママ

さんコーラス」を開設した、と公民館長の渡辺廣吉氏が将来への抱負をこめて話された。

当面の参加者は十七名、年齢的には、三十歳から四十歳代の女性が集まってきた。子育てに一段落したこと、電化生活により家事労働からも開放され余暇を生み出すことができるようになり、「何かをやりたい」という女性が多くなってきたことから、公民館の呼び掛けに喜んで参加してきたのである。また、幸いなことにクラシック音楽を指導する専門の指導者を町内在住者から得られ「ママさんコーラス」が始められた(実は、今にして思えばこれが失敗だったと社教主事の手島勇平氏は言う。というのは、このため、今

だに女性コーラスから脱却できない(理由)。

指導者の橋本治子さんは、当初を回顧して次のように述懐していた。「集まってきた女性たちの多くは「合唱」というものが分からない人たちなんです。ハーモニーということが分からないのです。演歌のカラオケを唄う気分ですからとても合唱の雰囲気ではありませんでした」とおっしゃる。それだから音楽的マナーも身につけていなかった、とずいぶん手厳しい。

それまで味わったことのない人たちの集まりであってみれば無理のないことだったわけである。むしろ、逆に言えばそうまでして「ママさんコーラス」に参加するほどに「なにかを学びたい……参加したい……」という行動意欲があったということであろう。

そうした実態から、毎週水曜日の夜七時半から九時までの練習時間で「教室」が続けられたのだが、いつの間にか九時半まで続けるのが普通になってしまったという。

かくして、「ママさんコーラス教室」から出発した「聖籠町コーラス教室」はひたすらに向上の努力を続けてきた。そして、昨年からは発表会を持つことになり、今年第2回目を去る2月

7日に開催したものである。「With Chorus 合唱発表会」がそれである。

二、「With Chorus 合唱発表会」への思い入れ

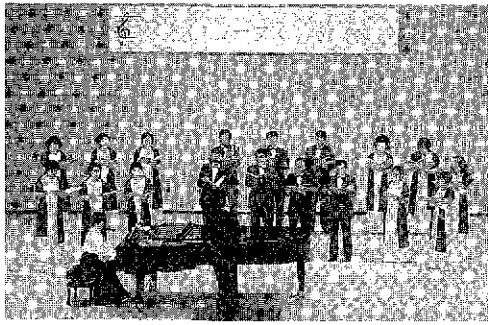
人間には「認知」の喜びや満足欲というものがある。これまでの学習の成果を第三者から認めてもらいたいという欲望があるものである。「聖籠町コーラス教室」グループの人たちも、日頃の練習の成果を発表したいという意欲が現われるのは当然の成り行きである。

また、近年の芸術文化活動は参加型活動になってきたのが社会的潮流である。つまり、音楽鑑賞とか演劇観賞のようにかつての鑑(観)賞主体の受動的な文化活動から、自らも歌い演ずるという積極的・能動的活動が支配的になっている。この参加型社会の反映としても発表会に意義がある。

三、発表会大成功

第二回目を迎えた今年の発表会は昨年の第一回を凌いで成功裡に終わった。その感動を紙上に再現してみよう。

二月七日(日)、暖冬と言われども冬は冬。当日の天候を実行委員は心配したが、まずまず。継続出演三団体、新規出演二団



『聖籠町コーラス教室』の歩み

年月	主な出来事		
平成元年	7月 11月	・「ママさんコーラス教室」開設17名参加週1回 pm7:30~9:00指導者 橋本 治子 ・5日、町文化祭の芸能祭で初舞台。 ・12日新発田市小・中・高等学校音楽祭に客演として参加。 ・ステージのユニホームを揃える。	
	3	・新発田市の「合唱講座」に参加 講師 郡山女子大学講師 渡辺康夫先生	
2年	5	・第6回「お母さん音楽会コーラスフェスティバル」に初参加(会場/新潟県会館)	
	6	・新潟県合唱連盟主催の「新潟県合唱祭」を当町文化会館で開催、20名が初参加。	
	7	・「聖籠町少年の主張大会」にアトラクション出演 ・「合唱の集い」へ初参加(主催新発田市合唱連盟)	
	11	・町文化祭へ参加	
3年	3	・公民館主催「合唱講習会」開催 講師 新潟大学教授 箕輪久夫先生 ・教室参加者30名となる。	
	5	・第7回「お母さん音楽会コーラスフェスティバル」に2回目参加。	
	7	・近隣市町村のコーラスサークルに呼びかけ『中部郷合唱の集い(仮称)』の発足について協議。	
	7	・「合唱の集い」2回目参加	
	8	・今後の当教室の曲目のもち方を協議。(指導者・教室代表・公民館の担当者)	
	11	・教室参加者35名になる。 ・町文化祭へ参加 ・町桃源郷フェスティバル事業『海上自衛隊舞鶴音楽演奏会』のゲスト出演 ・5月に協議した合唱発表会の名称を『With Chorus』とし12月開催にむけて準備 ・「第1回町楽祭」へ参加 ・「第1回With Chorus合唱発表会」を開催	
	12	・町「92'芸能フェスティバル」に参加	
	平成4年	3	・「新潟県合唱講習会」(主催県合唱連盟)が聖籠町文化会館で開催、参加。
		5	・新年度に入り、教室運営について協議。
		7	・「合唱の集い」3回目参加 (主催新発田市公民館等)
		11	・町文化祭へ参加
		12	・「第2回町楽祭」へ参加
5年	2	・「第2回 With Chorus合唱発表会」を開催 出演5団体。	

子どもと高齢者の交通事故防止(春の交通安全運動)

「近隣市町村の仲間と呼びかけて、ともに発表しあい観賞しあうところに意義があるのだ」という。そして更に「参加し発表しあう喜びや感動とともに、仲間とのふれあいや共に成し遂げる感動を味わうところに意義がある。それが「ワイズ」の意味なのだ」と納得した。

四、終わりに

ここまでこの町のコーラスグループを成長させた要因を整理すると次のことが指摘できよう。

①きわめて当然のことながら、優れた施設があること。外見以上に、音響効果など機能的に優れている施設であること。

②指導者の開発である。専門的技術の体得者であって、住民を愛する人を。できれば地元住民から発掘すること。

③最後に公民館の館長・主事の芸術文化活動への理解と熱意である。ここでは、参加型社会という時代の潮流を把握し、学習グループの認知欲を満足させるという公民館の原点に立脚していたことである。

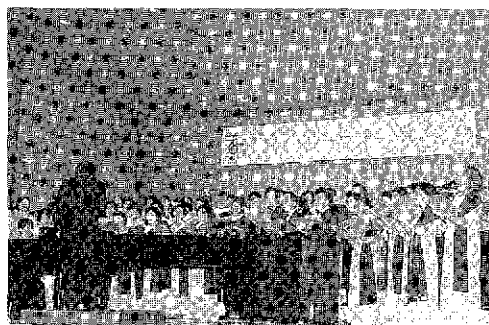
指導者の橋本さんは「このコーラス教室が四年間続きますます充実しつつある陰に、公民館の方々の、未成熟なグループへの育成活動が大きな役割を果たして

シリーズ 暮らし 公民館と芸術

— 聖籠町公民館の

体の五団体がプログラムに。ステージはいわゆる公民館祭りや音楽祭などの発表会と同様であるが、他の合唱発表会と違うところは、お互いのステージに学びあう主旨から、前のステージが終わると次の出演団体が客席から登壇すること。そして、プログラムの最後は出演団体全員が即席の合唱団「ワイズ」を組み立ててハーパーの音が素晴らしい。

幕がおり、その広がりが出演者同士の交流茶話会へ。今日の混声合唱の素晴らしさ(男性の参加が少ない悩みもだされたが)、各団体の悩みも出され、



「来年もワイズで」の言葉を交換してよりあがった。

たしてきます。コーラスサークルを公民館が援助するケースは少なく、そのためせっかく芽生えてもつぶれていくサークルをみています」と述べ懐かしく話した。

この点に公民館が取り組む芸術文化活動への対応が秘められていよう。

この「聖籠町コーラス教室」にも問題がいくつかあるという。例えば「技術の向上を目指したものの」と、「楽しみを優先したもの」との調整や、混声合唱への挑戦。さらには、公民館の教室から自主活動の文化グループへの脱皮などなどである。

この教室のある参加者は「仕事や家事をこなして駆けつける水曜の夜も四年……。場所、経費等運営に苦勞している多くの合唱団に比べ、公民館の庇護のもとに恵まれた環境で大事に育てられてきた私たちコーラスグループ。やがて巣立ちの時が来るだろう。温室の扉は自らの手で開けて歩み出さなければ。その時、こうして集うことのもう一つの喜びを知ることができるようになる」と語っている。

これらの問題を会員の英知によってクリアし、町の文化協会に加盟し名実ともに町民に認知された団体になるのも遠くはないだろう。

(編集子)

集落公民館活性化への取組

北蒲原郡豊浦町の場合

一、はじめに

豊浦町は県の北部に位置し新発田市、豊栄市、笹神村に接した農業と観光(月岡温泉)の町である。人口一万二千人余で、小学校4、中学校1、高校(分校)1が学校教育施設。社会教育施設は公民館(保健衛生センター併設)勤労者体育館、多目的運動場、町営野球場各1の施設が昭和61年頃から計画的に建築されて、施設の整備についてはほぼ完成された。

一方、町内の集落数(自治組織)は大小40集落あり、うち公民館としての建物を有している

二、地域公民館活動の経過

近年、生活水準の向上や余暇の増大などにより、住民の暮らしにも変化が見られる。生涯学習の時代といわれている今日、住民の学習意欲や文化生活への関心や欲求の多様化が年々高まっている。このような現状の中でますます地域の公民館活動の重要性が高まり、その推進が必要とされている。

昭和45年から町公民館では「自己学習と明るく楽しい、住みよい地域づくりを進める」ことを活動方針として、集落公民館を普及する構想が打ち出され、小学校区単位にモデル公民館(運営委員会の設置)の指定を具体的な活動のための組織づくりに入った。

当初は、なかなか区長さん方の理解を得られず、集落への説明会が続けられた。毎年子どもたちの夏休み前には、集落の関係者を集めて「地域子ども研究会」が行なわれるので、それと兼ねて、地域公民館活動の振興大会を開催し、地域活動の進め方について啓発に努めた。このような努力の結果、自主活動による集落公民館の活動が展開されるようになった。

運営委員会の役員体制では、集落の社会教育関係の代表の皆さん(構成人数12名)が任務を担当。また、当初は区長さんが公民館長を兼務していたが、仕事の負担が大きくなるため、現在はすべての集落公民館が専任の公民館長で活躍している。

事業の推進にあたっては、町公民館の指導と、集落それぞれの独自性を考えながら、運営委員会が検討がなされる。事業の内容を大別すると、

1 地域活動促進事業 Ⅱ 学校週五日制の導入にともない、子ども会活動の充実と地域の教育力の向上、心豊かな青少年の健全



八十七万二千元を計上している。また、活動に対する指導体制については、豊浦町高齢者地域社会活動(人材活用)の指導者を要請によって派遣している。

四、課題

1 地域公民館活動の運営体制は百%近く進められたが、事業の内容を見ると、ただ漫然と前年度事業を繰り返している公民館もあり、今後の事業の進め方、運営、組織の在り方などの見直しと、指導者(役員)の養成が必要とされる。

2 講話・講習会促進事業 Ⅱ 健康づくりの講習会と交通安全教室など。

3 文化活動促進事業 Ⅱ 地域の自然や伝統文化の継承活動。

4 スポーツ及び野外活動事業 Ⅱ 地域住民が一堂に集い、スポーツ活動をおしあひ互いに交流を深めるとともに、世代間の交流をはかる。

三、財政的な援助

実施事業(報告書)に基づき年12回を限度として助成している。一回分の助成費の内訳は、活動補助三千円・館長手当千円の計四千円である。

平成四年度公民館予算の中で地域公民館活動等の予算は、百

2 学校週五日制の実施にとまない、地域の教育力の回復と世代間のふれあいを深める活動の推進。特に、子ども会では、手作りの文化を体験させ、伝統文化を継承する活動等、地域から学ぶ体験学習を進めてほしいものと考えている。

五、おわりに

町公民館と集落公民館は常に連絡提携を密にし、一人でも多くの町民が自己学習と地域の公民館活動の事業に参加されるように工夫している。そのことが地域の活性化につながることであり、生涯学習の推進であると思う。

(豊浦町社会教育係長 細野 英敏記)

平成4年度 池ノ端集落公民館年間事業計画			
回数	月	事業内容	備考
1	3	公民館運営委員会	運営委員
2	4	新入学祝いの集い	育成会
3	4	消火栓・消火器操作訓練	全世帯
4	4	障屋広場整備	運営委員
5	4	観桜会	全世帯
6	5	祭礼奉納俳句大会と清掃	全世帯
7	6	文化財史跡めぐり	運営委員
8	7	団体対抗ゲートボール大会	全世帯
9	8	カラオケ大会	全世帯
10	10	班対抗ゲートボール大会	全世帯
11	10	町内一周駅伝出場選手練習	選手
12	10	料理講習会	婦人部
13	10	親子ハイキング	全世帯
14	10	熊野神社清掃	全世帯
15	10	懇談会(町政)	全世帯
16	1	新春将棋大会	全世帯
17	2	新春俳句大会	全世帯
18	2	公民館運営委員会	運営委員

サークル交流

「ケーキ」に恋して 柏崎市 粉と卵の会

「粉と卵の会」これが私達のサークル名です。何のサークルとお思いでしょうか？ ケーキを作る時、卵をよく泡立てて砂糖を加え最後に小麦粉を入れます。ここからサークル名が生まれました。お菓子研究家の高橋みどりさんを講師に三十人ずつ三つのグループに分かれて粉だらけになりながらおいしく(?) ケーキを焼いています。

今年で八年目。毎月一回の活動なので今までになんと一〇〇



種類以上のケーキを作った計算になります。スポンジに始まってシュークリーム、チーズケーキ、ティラミス、ヨーグルトムース、ザッハトルテ、おいしそりな香りがしてきませんか？

でき上がったケーキを家へ持ち帰り家族みんなでティータイムを楽しんでいます。

いつかみんなでウィーンへ行きザッハホテルで本物のザッハトルテを食べることを夢見て、今日もオープンとにらめっこをしている私達です。

(代表 西川真知子記)

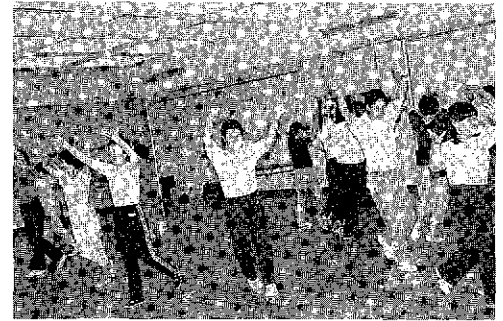
私達にとって生涯スポーツはレクリエーションダンス！

刈羽レクリエーション・ダンス・クラブ

美しく、年をとりたい。
そんな願いから、刈羽レクリエーションダンスクラブが結成され、四年目を迎えた。

毎月二回、夜、中央公民館でいい汗をかいている。

いつでも、どこでも、誰でもが簡単に踊れるレクリエーションダンスは、歌謡曲、ポピュラー曲に、自分達で創作し、振り付



ける。

そんなことから、若い方、中年、高齢者の方々と幅の広い会員となっている。

恵まれた会員とともに、生涯やれるスポーツとして、これからも、地域の方々と美しく年をとるため、頑張っていきたい。

(刈羽レク愛好会 沢田正男)

投稿歓迎

サークルの活動状況をお知らせください。

字数は四百字程度にスナップ写真を一枚添えてください。

〆切は毎月十五日。宛先は八面最下段の県公民館連合会事務局あてです。

(編集室)

栃尾市公民館 主事

清水文章子さん(37歳)

血液型は二重人格のA B。しかも毒を持つサソリ座の女。名前もむずかしい。文章子と書いてア・ヤ・コと読む。

平成三年四月から公民館勤務となり、主に図書室運営全般を担当。資料の購入、整理、貸し出し……と忙しい毎日です。

ふだんは、おしとやかにお客様に接している彼女ですが、お酒の席では別人飲むほどに



清水文章子さん(37歳)

素顔拝見

酔うほどに、マイクを握る手に力が入り、おじさんのついでにけなげないテンポの歌が、機関銃のように飛び出してくる。

大好きなスキューも、子育ての間しばらくは控えていたが、今年からは家族連れでウィンタースポーツを楽しんでいる。

小柄のわりによく食べるが体重は43kg。医者には、栄養失調の恐れがあると言われている。体力をつけて、市民に親しまれる図書室になるよう、もう一頑張りしてもらいたいです。

(栃尾市公民館 猪俣茂俊記)

糸魚川市中央公民館主任主事

細井和也氏(38歳)

市民課、農林水産課を経て中央公民館へ。「体は太くても名前には細いです。」そう言い続けて六年目。当館の最古参である。

モットーは「他人に敵しく、自分に甘く、女性には必要以上に優しく。」と豪語する。しかし言葉とは裏腹に実に優しい人柄であり、それゆえ人望も厚く、ジュニ研では「面白いオジサン」であり、成人式では「優しいお兄さん」であり、各種行事では「頼りになる太井さん」である。公民館の性格上、日々雑多な



細井和也氏(38歳)

死角はない。しかし難を言えば塩分の取り過ぎくらいで、その点は奥さんに成り代り余計な心配をしているところである。

午前様が続いてもキチンと愛妻弁当を持たせてくれる優しい奥様と、可愛い二男一女と「公民館」を愛する彼は、今宵も黙々とパソコンを叩き続けるのである。今、彼は中央公民館の「大きな顔」である。

(小林記)

県事業紹介

『公民館等管理者研修会』をはじめとする公民館職員・生涯学習・社会教育関係者を対象とした県の研修日程が決まりましたのでお知らせします。多数の参加にご協力ください。

◎公民館等管理者研修

会 期 (県公連との共催事業)
 期日 八月二十五日(水)
 会場 生涯学習推進センター
 ◎生涯学習指導者研修会
 〈初級コース〉
 前期 五月十九・二十・二十一日
 (県立青少年研修センター)
 後期 九月十六・十七日
 (生涯学習推進センター)

〈専門コース〉
 前期 十一月十六・十七日
 (生涯学習推進センター)
 後期 二月十五・十六日
 (県自洽研修所)
 ◎生涯学習推進員養成研修
 一回目 九月三十日(木)
 二回目 十月十三日(水)
 三回目 十一月九日(火)
 (生涯学習推進センター)
 詳細は生涯学習推進センター
 電〇二五―二八四―六一一〇へ

作品公募 第二回新潟県水墨美術展

新潟県水墨画会では第二回美術展作品を公募している。この美術展は、県教育委員会その他の後援で開催するもので「水墨画の伝統技法を生かし、新しい時代感覚で常に視野を広

くもち、水墨美術の高揚」を図ることを目的としているもの。県下の公民館の水墨画教室受講者並びにそのOBに広く応募を呼びかけている。

応募規定

相続・遺言問題 無料講師派遣

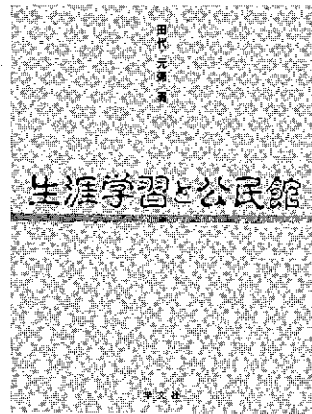
本格的な高齢化社会の到来と近年の資産価値の高騰により、相続問題・遺言問題の重要性が増してきています。

新潟県弁護士会では、昨年度に引き続き公民館での講演会相談会(相続・遺言のテーマに限る)に、旅費・謝金など全て無料で県弁護士会所属弁護士を講師として派遣してくれます。

この講演会(相談会)は県内のどこの公民館(本館分館問わず)でも、参加人数の多少も問いません。

新年度事業計画に位置付けてはいかげすか。昨年度は四公民館で実施して好評を博しました。希望の向きは左へ問い合わせ

図書紹介



生涯学習と公民館

社団法人全国公民館連合会参与 前事務局長 田代 元彌著

著者は、全公連第二次専門委員会答申「公民館のあるべき姿と今日の指標(昭和四十二年)並びに第五次専門委員会答申「生涯教育時代に即応した公民館のあり方(昭和五十九年)の責任者として重要な役割を果たされた方。更に『月刊公民館』の編集にも従事され、学者として、公民館実務者として、公民館の内も外も知悉している立場から、第五次答申以後の「現代の教育と

公民館」これからの公民館」について、三第七章十九節にわたって述べている。

本書は、現職の公民館関係者のために書かれたもので、著者の公民館へ寄せる熱情と期待とが行間にあふれている好著。講読をお薦めする。(平成5年3月30日刊、B5判207頁、定価二千五百円、限定出版のため購入希望の向きは当県公連事務局へ申し込まれたい。送料310円。)

あとがき

◆三面のコラム「辛口」欄を今月号から「視点」としました。「視点」は、同じく今月号から始めた特集欄「くらしの課題を追って」に極力連動し、毎号の課題にマッチしたその道のエキスパートから参考意見や提言を寄せていただくことをねらったものです。ご期待ください。(上村 記)

発行所 新潟県公民館連合会
 【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
 【電話・新潟 (025) 224-6073】
 発行人 会長 細川 正博
 編集人 事務局長 上村 捨二郎
 【定価1部130円 年共・年極1,560円】